



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ  
**東北こそだてレター (被災地の今…)**



2015/07/21 配信 vol.33

～ 津波で母を失い、気仙沼から災禍を逃れて東京に来た方の体験談から、支援が届きにくい状況にあるということ ～

◆ **支援実績** (2014/6/30 現在)

<支援母子数>

- ・2015年4～6月計 284組
- ・プロジェクト開始より累計 20,518組 (2012/7～2015/6)

<活動場所>

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亶理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

<活動内容>

妊産婦教育 / 育児・母乳相談 / 母親のメンタルケア / 母子交流会 / ベビーマッサージ / 母子体操・ヨガ / サロンや巡回訪問

みなさま、こんにちは。 一般社団法人ジェスパーです。

近畿地方に台風が来て、関東地方は梅雨明けで高気温。天候に振り回されているような気もしますが、とにかく9月まで熱中症にはお気を付けてお過ごしください。

事後のお知らせになってしまい恐縮ですが、このメルマガは隔月発行とさせていただくことになりました。1か月間が空く分、読み応えのある内容になるように努めてまいりたいと思います。よろしくお祈りします。

さて、今回はご支援いただいた宮城県のママサロンのためのプロジェクト成立お礼などをご覧ください。震災から4年以上経ちましたが、被災した人々を案じられる方々のお力が結集されて様々な支援が継続しています。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ **クラウドファンディング「宮城県内の助産師が赤ちゃん和妈妈のためのサロンを開きたい！」プロジェクト成立のお礼 (武者文子)**

震災後、宮城県の助産師仲間とMIJOというチームをつくり、ジェスパーさんから支援を頂き、宮城県各地でベビーマッサージなどの体験講座と育児相談をセットにした助産師サロンを展開してきました。

こちらの講座がとても好評で、宮城県助産師会としての事業としても発展しました。

震災後4年経ち、資金が底をつき始めたため、宮城県や仙台市に助産師サロンが産後ケアのひとつの形であることを提案したりして活動が続けられるようにみんなで力を尽くしてきましたが、今後の予算確保が難しい状況でした。

そんな折、じょさんしサロンについてICMでの抄録を英訳してくれたアメリカ人の翻訳家さんから「このような取り組みはアメリカでは寄付サイトでお金が集まるよ。」と背中を押されました。

ジェスパーでの岩手の「まんまる」の活動で車購入のためのプロジェクトが成功していたことにも勇気を頂き、役員会でも承認の上、ジェスパーと同じクラウドファンディングREADYFOR?で「宮城県の助産師が赤ちゃん和妈妈のためにサロンをひらきたい」というプロジェクトを立ち上げました。

ファンディングの担当者の方から、最初の数日でどれだけ多くのお金が集まるかが成功の秘訣といわれ、ドキドキの開始でしたが、ジェスパーとその関係者の方が集中してスタート直後から支援していただいたことで拍車がかかりました。



ファンディングの担当者の方から、最初の数日でどれだけ多くのお金が集まるかが成功の秘訣といわれ、ドキドキの開始でしたが、ジェスペールとその関係者の方が集中してスタート直後から支援していただいたことで拍車がかかりました。

結果、119人の方に1,229,000円の支援を申込んでいただきました。(達成率152%)

中盤からは宮城県が誇るフィギュアスケーターの羽生結弦選手を応援するファンの方が書いてくださった紹介ブログを読んだ方からの支援が続々とあり、私自身も支援者の方からの応援コメントを読んで随分エンパワメントされました。

実行者として顔と名前が出てしまった恥ずかしさはありませんが、チャレンジして良かったという気持ちです。

寄付だけで実施していくのは限りがあることなので、じょさんしサロンが継続の事業となるように今後もアピールを続けていきたいと思えます。サイトを是非ご覧になってください。

ご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

## ◆ まんまるサロン訪問 (ジェスペール広報 桑原慎一)

### ◇◆「まんまるママいわて」の事務所訪問

6月下旬の涼しいころ、私は「まんまるママいわて」の事務所である、岩手県北上市の田んぼのど真ん中にある一軒家におじゃましました。ここはヨガの先生である八重樫ももこさん(まんまるスタッフに八重樫さんが沢山います)のお宅の隣にあるアトリ工兼、ヨガ教室兼、まんまるの事務所です。

最近借り始めたというこの事務所は、本当にのどかで静かで空気もきれいでとても心地いい場所でした。東京で過ごす10分の感覚がこちらでは20分、30分に感じられるほど時間がゆっくり流れていきます。スタッフの皆さんも温和でまったりと接してくれるのもあると思います。



今回私が訪問した理由の一つに、新しく事務作業をすることになった「私パソコン苦手…」と言っている八重樫ももこさんにパソコン作業を教えることです。サイトのブログやスケジュールの掲載方法、facebook、GMAILの使い方や整理の方法などなど説明しました。

楽しくおしゃべりをしながら一通りのメニューをこなした頃、オステオパシーの施術者であるフランス人のダビット(ジェスペールより派遣)が事務所へ合流。ダビットは昨年より1年間の間、毎月まんまるサロンに訪問しママたちの施術を行って来ました。そして今回が最終回となります。ダビットの人気は明日のサロンで知ることになるのですが、今夜もダビットの別れを惜しむスタッフママが合流し一緒にみんなで夕食を共にしました。

### ◇◆大槌でのママサロン

翌日、7時半に「SAVE IWATE」(この岩手県を幅広くサポートされていて、こそだてシップのサポートも行っています。)のボランティアスタッフさんの車に同乗させて頂き、大槌へ行きました。

途中、高速道路やくねくねの山道を通りながらの道中でしたが休憩を入れて2時間半(道のり約95km)かかりました。内陸部から沿岸部までの道のりはやっぱり遠い!

2013年8月にプライベートで大槌に来ましたが、その頃とまた風景が一変し、大槌駅周辺は道もがらりと変わり建物がほとんどなく盛土がされていました。ショベルカーやダンプカーもフル稼働で作業中。ここ上町ふれあいセンターはその一帯が見渡せる場所にありました。しかしいったいどこから来るのか、ママたちがどんどん集まって来ます。



定刻になり司会進行の佐々木さんが注意事項、本日のおやつを紹介など行い、それから全員の自己紹介タイム。子育てのノウハウを知りたい。子育てが心配なので皆さん教えて下さい。など育児不安の解消が目的でいらっしゃる方も多かったです。当日は16組のママがテーブルとおやつを囲んでお隣さん同士おしゃべりを楽しんでいました。

2、3歳のお兄ちゃん、お姉ちゃん用にボールハウスや積木などのおもちゃもちゃんと用意してあり、ボランティアさんも進んで赤ちゃんの抱っこをしてママを解放にする努力をされていました。

この日、まんまるのスタッフ、ボランティアさんは総勢11名。抱っこボランティアさんに男性が3名と手厚いサポート体制でした。中にはおんぶ紐と抱っこで二人いっぺんに面倒見る男性もいて楽しませて…、いや頑張っていました。

支援物資もおむつをはじめ離乳食、ミルク、千趣会様の「かけはしおくるみ」など種類豊富に用意されていました。やはりおしりふき、おむつは大好評で皆さん持って帰っていました。震災から4年も過ぎると支援物資も「毎日必要なもの」に変わってきているという印象を持ちました。

#### ◇◆復興の影で・・・

サロンを後にし、北上駅まで代表の佐藤さんに送って頂きました。道中で、沿岸部では一部の方でDVや家庭内トラブルがあり悩みを抱えているママもいるとの話を聞きました。次回は弁護士さんがサロンに来てくれて相談を行うそうです。

震災から4年が過ぎましたが、ここだけでなく他の沿岸部地域でも同じような話を助産師さんから聞きます。また他のスタッフさんからは、岩手では年間所得が200万円を切る方が沢山いらっしゃるということで、職の問題、生活の問題、家庭の問題など多くの問題を抱えているそうです。

一方でこの地域を走っているダンプカーはほとんどが県外ナンバー。しかも関東、近畿、中国地方のナンバーも見かけました。(ここだけではなく陸前高田から大槌までの沿岸部でみられる光景です)復興で潤っているのは県外だけか?と思わずにはいられない現状もあります。(注:詳しい事情を理解せず私見を言ってます)もう少し政治の力で何とかならないものか。と感じながら岩手を後にしました。

ジェスパール 桑原慎一



術前カウンセリング中のダビット  
※写真のママと記事は無関係です

#### ◆ プロジェクト応援のお願い

ジェスパールの「東北こそだてプロジェクト」は、被災地の母子を支援する助産師の活動を支援しています。

皆様からいただいた温かいご支援は活動の原動力となっています。

被災地の母子を今後も継続してサポートしていくため、妊産婦支援に関するお志を同じくするお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記サイトをご紹介ください。

<http://tohokumama.org/donation/>

また、皆様からの励ましのお声も、現地の助産師や被災地で子育て中のお母さん、ジェスパールメンバーの力になります。ご寄付いただく際に励ましのお言葉を添えていただいたり、当メールマガジンへのご感想などをお寄せください。



発行者：一般社団法人ジェスパール

公式ホームページ：<http://tohokumama.org/>

Twitter：<https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先：[info@tohokumama.org](mailto:info@tohokumama.org)

Facebook：<http://www.facebook.com/tohokumama>

